



株主通信

TRIM REPORT

第34期 事業報告書

2015年4月1日～2016年3月31日



電解水素水を軸に 新規事業が新たなステージへ。

日本トリムグループは、水を科学し、機能水「電解水素水」を軸に、家庭用医療機器メーカーからメディカルカンパニーへの飛躍を目指して事業を展開しております。

2016年3月期は、営業効率向上への取り組みの成果と水素水市場の拡大を背景に、過去最高の売上高、営業利益を計上いたしました。2017年3月期に入りましても引き続き好調に進捗しております。

電解水素水整水器は、厚生労働省所管の医薬品医療機器等法(旧薬事法)で規定された医療機器であり、安全性と有効性が確認されております。また、当社は20年以上に亘り水素に着目した産学共同研究を実施しております。今般、水素水に関する様々な報道がなされておりますが、適正に対応してまいります。

現在、ペットボトル水や宅配のガロン水の需要は引き続き拡大しております。電解水素水整水器は、①健康効果がある②低コスト③エコへの貢献のメリットから、当社では、上記のペットボトル水や宅配のガロン水の購買層は、やがて機器へと移行してくるものと考えております。整水器市場の飛躍的成長に向けて、広報・広告活動の一層の強化、中長期的視野に立った研究・製品開発に取り組んでまいります。

この度、当社グループでは、中国における糖尿病治療、血液透析を行う病院運営事業への参入を決定しました。日本式医療

の国際展開を目指す国の方針にも合致するもので、内閣官房の健康・医療戦略室や一般社団法人Medical Excellence Japanの支援も得て、2017年初頭の事業開始に向けて準備を進めております。

電解水透析では、高機能な新型機を今夏に販売開始する予定で、いよいよ本格的拡販をスタートいたします。

農業分野では、「還元野菜[®]」栽培の検証、普及促進の取り組みに対し、農林水産省から補助金が給付されることになりました。また、高知県下では当社の農業用整水器導入に県と市あわせて最大2/3の補助が実施されるなど、ステイタスは確実に上がっており、今後の成長を大きく期待しております。

海外では、インドネシアのボトリング事業で、2017年3月期は前期の倍以上の伸長を見込んでおり、生産体制の強化、積極的な広告展開により、今後、急成長させてまいります。

このように、主事業である電解水素水整水器事業のさらなる拡充とともに、これまで当社グループが取り組んでまいりました新規分野が事業として収益貢献する段階となり、大きく躍進する新たなステージに入ったと考えております。

株主の皆様には、今後とも相変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 日本トリム
代表取締役

森澤 紳勝

「日本の医療の国際展開」を 官民協同で展開

中国で糖尿病・人工透析の 日本式医療サービス



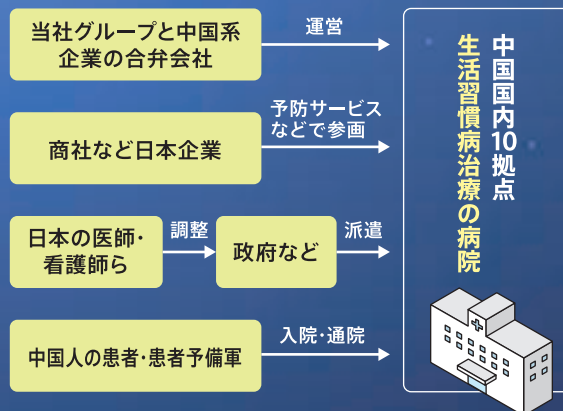
2016年4月26日(火) 日本経済新聞《一面》

当社グループは、日本国政府や他社企業と連携し中国での生活習慣病の治療を中心とした病院運営に参画することといたしました。これは日本企業が主導する病院が中国で本格的に展開する初のケースとなります。

中国では糖尿病患者だけで1億人を超えるといわれていますが、治療や予防を行う病院が不足している現状です。当社グループのほか糖尿病予防食の開発などで他社企業も参画を検討しており、福島県立医科大学の中山昌明教授など生活習慣病関連の専門医チームがプロジェクトに加わります。

当病院事業の展開は当社グループと中国企業が設立した合弁会社が運営いたします。

オールジャパンで日本式医療を「輸出」



NEXT STEP

北京に病院を開設 (2017年初旬開業予定)
5~7年後に売上規模500億円を目指す

整水器販売事業

総販売台数が過去最高を達成

水素水市場の広がりにより、整水器への需要も拡大しております。それにともない、主力製品である電解水素水整水器トリムイオンシリーズの総販売台数が過去最高を達成しました。直販部門の1人当たり販売台数が過去最高、職域販売の1説明会当たり販売台数も過去最高水準を記録するなど、販売効率も大きく向上しました。さらなる需要増に対応するため、製造子会社である(株)トリムエレクトリックマシナリーの生産能力を1.5倍に増強しました。



企業向け営業の拡大

卸部門では整水器のOEM生産の引き合いが拡大し、2件の大口取引を受注しました。現在折衝中の案件も契約に向けて精力的に取り組んでおります。また、従業員の健康増進とコスト・リスク低減を目指す企業も増えてきていることから、新規の企業開拓を加速させ、さらなるBtoBビジネスの売上伸長を目指しています。



NEXT STEP

常務取締役 営業本部長 西谷 由実

昨今、「健康経営」に注目が集まる中、当社の電解水素水整水器を職場に導入する企業が増えてきております。次期も健康経営を軸に企業開拓を加速させ、販売効率を高め10万台販売という大きな目標を成し遂げます。また、既存顧客からの紹介率を向上させる為により一層既存顧客へのDMを強化し、フォローの充実を図ります。店頭催事販売では販売員の増強、及び、什器改良を行います。卸・OEM部門では新規大口先との交渉も契約に向け進んでおり、次期は全部門で飛躍的に売上を伸ばしてまいります。

農業関連事業

「還元野菜プロジェクト」に 農林水産省の補助金交付が決定

昨年7月に高知県、南国市、JA南国市、高知大学と推進連携協定を締結した「還元野菜プロジェクト」が、農林水産省の平成28年度「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」に採択され補助金が交付されることに決定しました。



2015年7月「還元野菜プロジェクト」推進連携協定調印式
©読売新聞社 (大阪本社)

農業用電解水素水整水器に 高知県の補助金交付が決定

当社の農業用電解水素水整水器の導入にあたり、高知県の補助事業「環境制御技術普及促進事業」で導入費の1/3が補助されることが決定しました。市からも最大1/3が補助され、あわせて最大2/3の補助が実施されます。



NEXT STEP

業務部長 大屋 勝彦

農林水産省や高知県の補助事業に「還元野菜プロジェクト」及び「農業用電解水素水整水器」が採択・採用された事により「還元野菜」を広く知って頂ける土台が構築できました。今後さらに還元野菜の栽培品種・地域などを広げ検証していくとともに「農業用電解水素水整水器」の普及に注力してまいります。

電解水透析事業

「電解水透析研究会」が日本透析医学会の 全国規模学術集会に認定

当社では2008年から「電解水透析研究会」を運営し、電解水透析の学術情報やノウハウの共有を行うとともに、日本透析医学会へのブース出展などで情報発信を行ってきました。この度本研究会が同学会の全国規模学術集会に認定されたことで、さらに電解水素水の透析治療への活用が推進されることが期待されます。



高機能な新型電解水透析システムを開発

従来機種に比べ、コンパクトで清浄化機能の強化や溶存水素生成能力を向上させた次世代型電解水透析システムを開発。2016年夏頃の販売開始を目指し、全国の病院への導入提案を展開します。患者様の予後改善に貢献できるよう、電解水透析の普及に邁進します。



NEXT STEP

株式会社トリム メディカル インスティテュート 代表取締役社長 樺山 繁

電解水透析研究会が全国規模学術集会に認定された事により、約4,330の全国透析施設から電解水透析に注目が集まりました。

この状況下、次期より販売を開始する高機能な次世代型電解水透析システムの事前受付が好調に推移しており、既に40施設以上の病院より引き合いが来ております。電解水透析システムの導入を加速させてまいります。

先進医療関連事業

再生医療等安全性確保法に基づく 許可証を取得

(株)ステムセル研究所の細胞処理センターが、厚生労働省(関東信越厚生局)より、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づく、「特定細胞加工物製造許可」を取得しました。同社では引き続き、「さい帯血由来幹細胞を利用した「再生医療・細胞治療分野の発展」に貢献してまいります。



細胞保管ビジネスの拡大

国内シェア
90%以上

(株)ステムセル研究所のさい帯血保管数は37,215件(2016年3月末現在)となっており、年々拡大しております(国内シェア90%以上)。米国においては、出産時に妊産婦へさい帯血保管について説明を義務化する州があるなど、その意識は高まってきております。

現在、日本における保管比率は約0.4%(年間出生数約100万人に対する民間バンク保管数)ですが、研究の進展と共にその重要性が高まってきております。

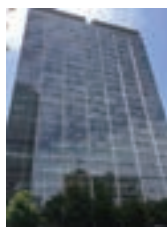


NEXT STEP

株式会社トリムメディカル ホールディングス 代表取締役社長 清水 崇文

近年iPS細胞等の研究の進展と共に、これまで治療法のみつからなかった疾病に対する新しいアプローチとして、「再生医療」実現への期待が高まってきています。当社の取り組んでいるさい帯血由来幹細胞は、これまで白血病の治療等で多くの実績をあげており、その安全性の高さから、これまで治療が困難であった疾病(脳性麻痺等)への新たな臨床応用が期待されています。

機能のある水「電解水素水」を通して 世界の健康に貢献します



Hankook TRIM CO., LTD

多寧生技股份有限公司



広州多寧健康科技有限公司



PT. SUPER WAHANA TEHNO



TrimGen Corporation

インドネシア市場

PT. SUPER WAHANA TEHNO
取締役 篠原 圭

インドネシア飲料水業界は1,500億円の市場と言われる中、当社は10年計画を立て約400億円の売上を目指して取り組んでいます。当期は約4億5,000万円の売上を達成しました(前期比129.7%)。次期は工場の増設と合併会社シナルマスグループがインドネシア全土に23拠点所有する販売子会社と提携し、約10億円の売上を目標に取り組んでいます。



アメリカ市場

TrimGen Corporation
社長 James Wang

遺伝子関連事業を展開しておりますTrimGen Corporationでは複数の遺伝子や多くのサンプルを同時解析できる次世代型遺伝子検査機器向け診断キットの開発・製品化に注力しております。



次世代型シーケンサー

中国市場

広州多寧健康科技有限公司
総経理 黄偉

中国市場での浄水器の需要は急拡大しています。中国では広州に当社グループの販売会社を展開しており、当期の売上高は前期比183.7%を達成。2016年4月26日(火)付日本経済新聞一面記事(2ページ)で取り上げられた中国での病院チェーン展開とも連携し、さらなる業績拡大を目指しています。

韓国市場

Hankook TRIM CO., LTD.
代表取締役 申 賢浩

韓国国内の水市場は年間2兆4,000億円とも言われています。韓国ではウェルビーイング(well-being、身体に良い物を使う)の関心が高く、最近その関心が水にも及んでいます。単に安心して飲める水から「身体に良い水」へのシフトで、事業展開を目指します。

「電解水素水」をとりまく環境

当社の電解水素水の位置づけについて

水素の溶存している水は大きく4つに分類されます。

- ① 水に水素をバブリングした水素水(清涼飲料)
- ② 金属・マグネシウム反応させて水素を発生させる水素水
- ③ 電気分解にて水素を生成する器械で生成された水素水(医療機器認証を得ていない)
- ④ 電気分解にて水素を生成する医療機器で生成されたアルカリ性の水素水(医療機器認証を得ている)

当社の電解水素水は④に該当いたします。

安全性及び効果について

当社の整水器は厚生労働省所管の管理医療機器として**安全性および有効性が確認されており、胃腸症状の改善に効果が認められた製品です。**

また、医薬品医療機器等法(旧薬事法)およびJIS規格に則って許認可のもと製造しており、上記の製品①・②・③とは異なるものであります。

新たな機能解明、 他の水との差別化へ向けて

糖尿病への飲用効果(臨床)

【東北大学医学部】

早ければ2017年末に試験終了、その後、論文化。

電解水素水の物性解明

【東京大学大学院工学系研究科】

電解水素水の浸透力、抽出力等の機序を解明。

電解水素水のバブリング水素水との差別化

【九州大学大学院農学研究院】

九州大学、東京大学との共同論文を投稿済み。

電解水素水飲用による

うつ病発生抑制効果【カロリンスカ研究所】

2016年共同研究を開始。

電解水素水飲用による

馬の胃潰瘍予防効果【帯広畜産大学】

2016年6月1日発行の「獣医畜産新報」に論文掲載。
現在、大井競馬場で実地試験中。

整水器マーケットシェア

59.4%

参照元: 矢野経済研究所

「2014年版 浄水器・整水器市場の実態と展望」



自己資本比率

71.0%

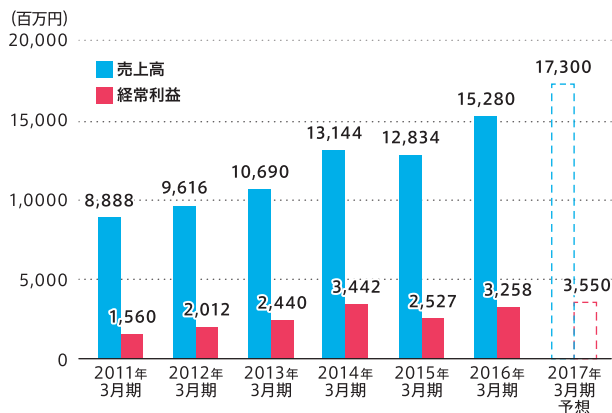
上場企業平均*

38.9%

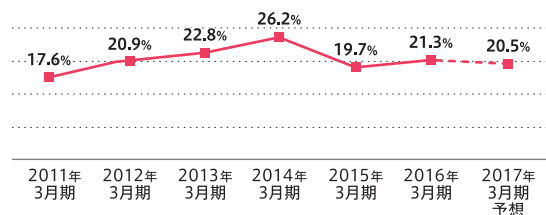
※(2015年3月期決算短信集計 東証HP参照)

財務ハイライト

連結業績の推移



経常利益率



株式の状況

発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式の総数	8,409,170株 (自己株式247,610株を除く)
株主数	4,549名

大株主

株主名	持株数(株)
森澤紳勝	3,550,580
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	541,900
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	324,700
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	222,200
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS- UNITED KINGDOM	130,000
株式会社三井住友銀行	120,000
住友生命保険相互会社	100,000
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LIMITED CLIENTS A/C 513 SINGAPORE CLIENTS	96,000
日本トリム従業員持株会	88,500
三谷禎秀	80,000

株主優待制度のご案内

対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上の当社株式を保有する株主様

株主優待制度の内容

当社が販売する整水器1台もしくは浄水カートリッジ1本の標準価格の30%割引を行う株主優待券を1枚進呈いたします。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 および特定口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ (http://www.nihon-trim.co.jp)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合の公告方法は日本 経済新聞に掲載する方法といたします。

会社の概要 (2016年3月31日現在)

商号	株式会社 日本トリム NIHON TRIM CO.,LTD.
本社 設立	大阪市北区梅田二丁目2番22号 1982年(昭和57年)6月12日
資本金	992,597千円
従業員	479名(関係会社含む)
主な事業内容	電解水素水整水器及び カートリッジ等の製品開発・販売



役員 (2016年6月23日現在)

代表取締役社長	森 澤 紳 勝	常勤監査役	奥 田 健 一
専務取締役	尾 田 虎 二 郎	監査役	今 橋 正 隆
常務取締役	西 谷 由 実	監査役	池 田 広 二
取締役	内 田 士 郎		

拠点

本社	大阪
支社	札幌・仙台・東京・名古屋・広島・福岡
営業所	青森・宇都宮・高崎・大宮・千葉・横浜・新潟・長野・静岡・浜松・ 金沢・京都・姫路・山陰・岡山・松山・高知・長崎・熊本・鹿児島・沖縄
東京オフィス	

■ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■ 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置
法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その
添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金の
お支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告
をなされる株主様は大切に保管ください。

主なグループ企業

国内

株式会社トリムエレクトリックマシナリー
株式会社トリムメディカル ホールディングス
株式会社トリム メディカル インスティテュート
株式会社トリムライフサポート
株式会社ステムセル研究所

海外

TrimGen Corporation 米国・メリーランド州ボルチモア
PT. SUPER WAHANA TECHNO インドネシア・ジャカルタ
広州多寧健康科技有限公司 中国・広東省広州市
多寧生技股份有限公司 台湾・桃園市
Hankook TRIM CO., LTD. 韓国・ソウル特別市

～ 水を科学する ～

株式会社日本トリム

本社

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22
ハービスENT オフィスタワー22F

東証一部上場
証券コード:6788